

農地集積と生産性・収益性の向上による経営基盤の強化(茶・野菜)

活動期間: 令和2年度

○ 取組の背景

- ・富士農林管内における平成27年の茶生産は面積923ha(富士農林管内の耕地面積の16%)、産出額23億円(同8%)を占め、畜産、野菜に次ぐ基幹作物である。
- ・出荷が遅い地域であることに加え、消費の減少による荒茶価格の低下により、平成12年の最盛期から475ha、9億円減少し、茶業経営の維持発展が大きな課題である。
- ・令和元年度、生産者や関係機関の協力のもと、茶産地と茶業経営体の現状と「強み」等を分析し、推進方向と目標を定め、アクションプランとしてとりまとめた。



○ 課題・目標(アクションプラン)

課題	分析(強み×機会)	推進方向	推進対象	R2目標
茶業経営の強化	茶園が機械化に適合 ×ドリンク需要の高まり	①原料茶の生産拡大	・7経営体	契約取引を取り入れた茶業経営体の確立 2計画
	農薬の飛散が少ない茶園 ×有機茶の需要が拡大	②有機栽培茶の生産拡大	・JA富士宮有機茶栽培研究会 ・有機栽培を志向する経営体	
	自販する経営体が多い ×消費地に隣接	③小売販売力の強化	・10経営体	
茶業経営の補完	耕土が深い ×首都圏等大消費地に近い	④複合作物の導入	・野菜生産を希望する茶生産者等	新規取組生産者 3経営体

普及指導員の活動

①原料茶の生産拡大

- 契約による原料茶生産の経営の収益性を確認(R1)
- 大手ドリンクメーカーとのマッチング支援(R1~)
- 若手茶業者の経営計画に基づく経営転換

	荒茶収穫量	単価	金額
非契約	100kg/10a	900円/kg	90千円/10a
契約(想定)	200kg/10a	***円/kg	250千円/10a

- ・富士山麓の標高差を利用した生産計画の作成とそれに伴う茶園集積計画の作成を支援
- ・ドリンク原料の品質を確保するための茶工場の衛生環境整備支援(ChaOIプロジェクト活用)
- ・生産効率向上のための乗用型機械導入支援(ChaOIプロジェクト活用)
- 50ha規模への拡大に向け、農地集積と基盤整備の推進
- ・農地集積及び基盤整備が可能なエリアの検討
- ・人・農地プランの策定に向け関係機関と連携した活動
- ・基盤整備予定地域内の協力者の支援を受けた地権者への理解促進



②有機栽培茶の生産拡大

- 生産性を高める技術の導入(R1~)
- ・蒸気除草機及び乗用型捕虫機の実演会を開催
- ・病気に強い整枝技術の提案
- 有機栽培茶の個人輸出の拡大
- ・有機JAS認証の取得支援(国直接採択事業を活用)
- ・輸出拡大に向けた商談会への参加支援(県産品輸出促進事業活用)
- ・海外バイヤー向けのパンフレット作成支援(専門家派遣活用)
- 環境保全型農業直接支払交付金の活用推進



③小売販売力の強化

- 農業経営経営相談所の専門家派遣を活用した販売強化(R1~)

④複合作物の導入

- 地元市場と連携して市場性が高く、茶園転換に適した野菜10品目を選定(R1)
- JA及び市場と連携した野菜の導入推進
 - ・野菜生産、需要動向に関するセミナーを2回開催
 - ・カボチャ、落花生、キャベツの園地視察と栽培技術講習各1回開催(延べ49人参加)
- その他の作物の導入支援
 - ・JA富士市:わさび苗生産の検討
 - ・JA富士宮:加工キャベツ、サツマイモの巡回指導



具体的な成果

① 原料茶の生産拡大

- 大手飲料メーカーとの栽培契約の締結：富士市 A社 9ha
 - ・生葉の一次加工施設の改良と長期経営計画の策定
 - 栽培に対応する茶工場の整備と乗用型機械の導入
 - ・富士市間門地区の農地集積と基盤整備
 - 地権者の同意、基盤整備計画と人・農地プランを策定見込み
- 大手飲料メーカーのティーパック原料用紅茶の試作と販売計画の策定：富士宮市 B社

②有機栽培茶の生産拡大

- 有機JAS取得面積拡大：9ha(4経営体)→12ha(5経営体)
- 環境保全型農業直接支払交付金の新規取組開始
 - ：JA富士宮有機茶栽培研究会 3.73ha(3経営体)
- 輸出の拡大：富士市 C社
 - ・輸出契約数量 40kg→200kg (ドイツ)
 - ・新規輸出 東南アジアの1社と商談

④「複合作物の導入」

- 茶園への野菜導入：1.64ha

- 野菜新規取組生産者：4経営体 6品目

- 今後の導入・試作意向の把握

茶園転換(市単独事業)での作物転換実績(令和2年度)

導入品目	面積(ha)
野菜	1.64
切枝等花木	1.00
その他	0.45

セミナー等参加者における野菜新規品目導入状況

No.	経営概要	導入品目(面積)
1	野菜主体+その他	カボチャ(30a)、サトイモ(10a)、ホウレンソウ(露地)(30a)
2	野菜主体+その他	ラッカセイ(2a)
3	野菜主体+その他	ブロッコリー(7a)
4	茶主体+野菜等	ワサビ苗(2a)

セミナー等参加者の選定10品目の試作意向 (回答数:42経営体)

カボチャ	サトイモ	ラッカセイ	カリフラワー	キャベツ	ハクサイ	ブロッコリー	シロネギ	ホウレンソウ(露地)	ホウレンソウ(施設)	コマツナ(露地)	コマツナ(施設)	延べ合計
6	6	5	4	7	3	6	1	2	3	3	2	48